

* 会員団体の被災状況&活動

◎いわて生協

① 4月2日(土)は大船渡市・宮古市で、3日(日)は山田町で牛丼炊き出しを実施。組合員さんといっしょに常勤者もボランティア参加しました。食べた方からは「優しさが詰まった牛丼ですね」「パワーをもらい、前向きな気持ちになれた」などの感想が。また、ボランティア参加した中学生は「ありがとうと言ってもらえたのがうれしかった」と話していました。マスコミの取材も多く、全国で紹介されました。



いわて生協(本部滝沢村、飯塚副理事長)は2日、大船渡市、宮古市の避難所1カ所で牛丼1万食炊き出しプロジェクトを実施。大船渡中では450食を提供し、被災者は久しぶりの熱々の丼を楽しんだ。同校には職員や組合員のボランティア9人が訪問。お昼に炊きたたのご飯に乗せた野菜たっぷりの牛丼を振る舞った。

いわて生協、牛丼提供

大船渡市大船渡町でし、同校の避難所で暮らす田千恵子さん(6)は「もぐくおいしくて、全身がでている。気持ちも明るくなった」とうれしそうに頬張っていた。

同プロジェクトは、全牛事業協同組合から牛肉、マネギなどの提供を受け、現した。3日は山田町、は大船町、10日は陸前高で行われる。

②共同購入が4月11日からの配達に向け動き出しました。沿岸4支部(久慈市、宮古市、釜石市、けせん=大船渡市・陸前高田市)がお見舞い訪問活動を開始、組合員の先週1週間の状況は、対象18,554人のうち、無事を確認できたのは10,289人、ケガ4人、安否不明1,908人、死亡32人、会えなかった方6,321人となっています。津波の被害にあった釜石・けせん支部はまだ機能していませんが、確認できた組合員から少しずつ配達が始まります。店舗は品薄ながら12店舗全部で営業しています。

◎消費者信用生協

①被災地域組合員は12市町村で2,964人、固定電話が通じないところもあり、3割の確認にとどまっています。釜石事務所は職員3人が津波に流されながらも助かり、事務所は使用不能、一関事務所は一部損壊等の被害がありました。

②今、被災者の一番の問題に寄り添う活動を続けるため、生活再建相談に丁寧に対応することになりました。そのため、今使える公的「被災者支援制度一覧」を組合員に送付し、職員・相談員も学習しながら進めることになりました。今後被災地の組合員を中心に返済不能も予想されますが、家もない、仕事もない人に返済を迫ることはせず、猶予期間を設けながら柔軟に対応することを申し合わせました。

◎盛岡医療生協

①全国民医連から2名の医師を迎え、大船渡市赤崎地域の5避難所と自宅避難民の訪問医療活動を一手に引き受けています。

②被害がひどく、行政機能が失われた陸前高田市と大槌町に県が作る8診療所のうちの1つに責任を持つことを表明、今調整中です。～半年間～

◎ 岩手県退職女性教職員の会

- ① 被災地の沿岸地域に100人を超える会員がいるので、安否確認中ですが、数人は死亡がわかり、避難所や遠隔地に避難している方等々、なかなか把握できない状態です。
- ② 岩手県教職員組合と一緒に全国から集まった支援物資を学校が避難所になっているところを中心に配りました。会としては全国や盛岡支部で義援金を集めていますが、今後の具体的な活動については支部会議等で検討することになっています。

◎ i 女性会議岩手県本部

- ① 会員の安否確認の結果、一人が床上浸水の被害があっただけで無事が確認されました。
- ② 今後の活動については話し合っています。

◎ 新日本婦人の会

- ① 会員の安否確認と救援寒波と支援物資を共同対策本部の物資と一緒に被災地に届けています。
- ② 全国で集められた義援金200万円を岩手県庁に出向き手渡しました。

◎ 岩手県学校生協

- ① 久慈市の県北事業所は壊滅的被害で、現在九戸教育会館に事務所機能に移して再開、宮古市の沿岸事業所は1階が津波の被害にあい、現在は2階を使いながら業務を行っています。今後も事業と平行して支援活動に取り組みます。
- ② ユニセフの被災した子ども用の“学用品セット”の配送を担当します。
- ③ そのほか、ユニセフのセットには入らないクーピー・画用紙・絵の具等のセットを独自に集めて配ります。

◎ 宮古市職員生協

- ① 店舗・事務所は津波の被害にあい、再開は検討中。店舗・食堂の継続はかなり難しい状況ですが、斡旋業務等は続けたいと思っています。今後、理事会で検討します。
- ② いわて生協と岩手県農民連から支援物資のりんごの差し入れがあり、1階が津波被害にあい、ライフラインが回復しない中で奮闘している宮古市職員の皆さんに届けました。～自治体職員の皆さんは、被災者のために昼夜奮闘し、超過労状態です。

◎ 釜石市職員生協

- ① 市役所の地下にあった生協は水没し、使える状況ではなくなりました。今後については決まっていません。
- ② 釜石市街地の被害がひどく、最初は避難者の食糧確保のために市長の要請もあり、いわて生協本部に出向き、米等を分けてもらって当座をしのぎました。その後もすぐに食べられるものを中心に支援をお願いして供給を続けています。

◎ 大船渡市役所職員生協

- ① 市役所は高台にあり、その中にある生協も建物は無事でしたが、ライフラインの復旧がすすまない中、生協連と必死に連絡をとり、いわて生協から物資を分けてもらって何とか供給を続けています。